

冬休み後の全校集会あいさつ

「あけましておめでとうございます」

令和3年がはじまりました。

年が明けても新型コロナウイルスの感染拡大は収まる気配がなく、特に首都圏では厳しい状況が続いています。

新型コロナウイルスについても SNS 上では色々な情報が飛び交っていますが、SNS と言えば、「炎上」「批判」「攻撃」「排除」など、どうしても殺伐としたマイナスのイメージが浮かんでしまいます。でも、そんな SNS の世界に「人のやさしさ」を感じるアカウントを見つけました。

それは奈良市のある「とんかつ店」のアカウントです。その「とんかつ店」は、「無料食堂」が一番の話題となったお店です。思いを込めた手書きのチラシや SNS の活用などで、利益度外視のサービスによって人気を博し、今や県外からも多くの方が訪れていて NHK への出演など多くのメディアに取り上げられています。

「無料食堂」の貼り紙は、こんな感じです。

「お腹が空いても家にお金がない時やお子さんにおいしいものを食べさせたいのに事情があってそれが難しい時は、コソッと店長に相談してくれたら店長のおごりでお腹いっぱい食べさせます。」というものです。この「無料食堂」を始めるにあたって店長さんは色々と悩まれたそうです。自分の独りよがりではないか、他の飲食店さんに迷惑がかからないかなど。でも自分なりに色々と調べてみると、各地の「子ども食堂」の現実や一人で食事をするのが原因のさまざまな社会問題などがあることなどがわかってきました。そして、「自助努力が足りないと切り捨てるほど社会はまだちゃんとは出来ていない。」「どうにかしようと本当にたくさんの人が努力されている。」という現実から、「何もしないよりはしたほうがいいのかもかもしれない」「今ある社会の制度で拾いきれないことが、無料食堂で拾えるかもしれない」と思い、決断されたそうです。

「無料食堂」を始めて気づいたことについては、「SNS の可能性」だとおっしゃっています。

SNS 上では、発信した人の言葉や文章が自分の思いに反して切り取られ、その人への「炎上」「批判」「攻撃」「排除」が起こってしまう現状がある中で、「思いを言葉にしてきちんと伝える」「人を傷つけない」「独りよがりにならない」「対面では言いにくいことを照れずに伝える」ことを意識することで、自分の発信力を超える可能性があることを実感されたそうです。SNS にもマイナスのイメージだけではなく、プラスのイメージという可能性があり、それを実行したいという店長さんの思いが私にも伝わってきました。

今日は「人のやさしさ」を SNS で伝えた例を紹介しました。冬休み前は「協力」について触れました。新型コロナウイルスについてはまだ、収束の兆しは見えませんが、引き続き、この状況に「人のやさしさ」と「協力」で立ち向い、よりよい学校生活を送りましょう。